



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年10月30日

我孫子市小中一貫教育だより
第344号



我孫子市マスコットキャラクター
「手舞沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア 町の安全を守る ～交通安全「自転車の乗り方」～

高野山小学校の第3学年で、Abi-キャリアの一環として、交通安全自転車教室を実施しました。2時間の設定で、前半は実技講習です。校庭に白線で道路や横断歩道が作られ、信号機が設置されました。講師には我孫子警察署の方に来ていただきました。

道路標識や信号機のルールについて説明を聞いた後、自転車に乗って、校庭に作られた道路を一周しました。歩道と車道、どちらを通るかは自分で決めて進むルールです。子供たちは警察の方の説明をきちんと守り、信号機をよく見ながら運転をしました。後半は自転車の安全な乗り方について、動画を視聴しました。交通事故が起きた場面では、動画を止め、「どうして事故になってしまったのだろうか」「どうしたら事故を防げるだろうか」と考えました。事故の原因や未然防止について話し合い、考えながら動画視聴を進めていくことで深い学びとなっていました。

我孫子中学校区では、小学校6年間と中学校3年間の9年間を安全教育で繋ぐことができないか考えているところです。安全について考え、行動することは様々な活動において大切なことです。広い視野で安全について考え、行動できる人になって欲しいと思いました。



Abi-キャリア「くらしを支える仕事」

湖北台東小学校の4年生でAbi-キャリアとして「仕事を仲間分けするときどのような分け方があるだろうか。」を学習問題に授業が行われました。

「(自分たちが)関わる仕事」、「関わらない仕事」「なくなるとすぐに困る仕事」「すぐには困らない仕事」という座標軸に合わせ職業を打ち込んでいきます。タブレットを活用するとリアルタイムで班の仲間の意見が見えるため、それも参考にしながら自分の考えを表現していきます。同じ職業でも置かれる位置が違うことに驚いたり、お互いに意見を述べ合ったりするなど、授業が充実したものとなっていました。

座標軸で考えたことで「直接は関わらない&すぐには困らない仕事」のなかにも、本当になくなったら困る仕事があることに気がきました。先生から「役立ち方」という視点を入れて考えることも大切だという話がありました。

最後に、分類した部屋ごとに名前をつけました。「有名人の部屋」「人を楽しませる部屋」など、児童たちの目線で仕事の特徴をしっかりと捉えていることが伝わりました。仕事を多面的な目線で分析し、その特徴を新たな目線で捉えるために、お互いの意見を尊重し合うなど、児童が生き生きと取り組む素敵な授業でした。

